

自脱型コンバイン、バインダーの耐久性について

南部美記雄・野垣義登・上田克己

(熊本県農業試験場)

NANBU, M., NOGAKI, Y., UEDA, K.

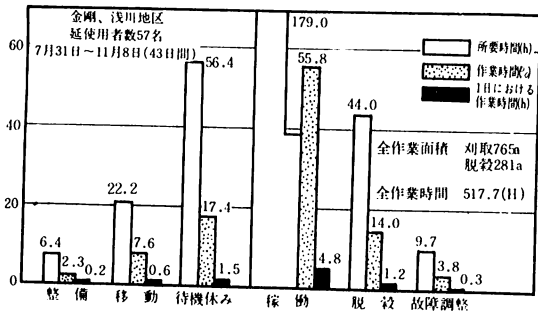
Small-Sized Binder and Harvester Combine Durability Test.

I. 目的 水稲収穫期間中農家において、長期間、大面積の収穫作業を行なわせ、その間の故障発生および作業終了後の磨耗の状況を調査し、機械の耐久性とともにその適応性の限界を調査した。

II. 試験、調査の方法 試験調査地区を定め、その地区内の農家郡に機械を貸与し、収穫期間内に可能な限り収穫作業を行なわせ運転日誌に日々の作業実態を記録し、あわせてタコグラフを使用した。

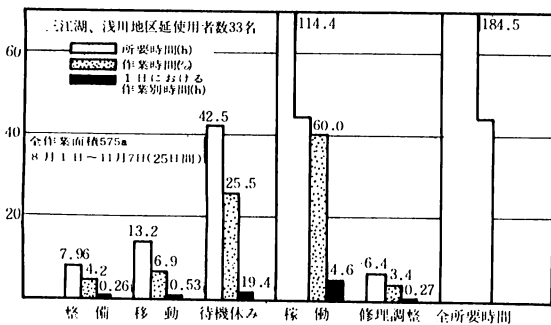
III. 試験調査成績

(1) 自脱型コンバイン作業実態図表

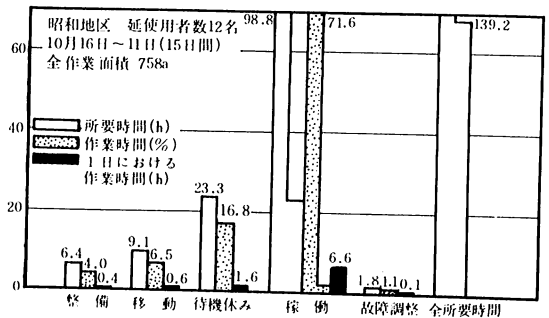


(2) バインダー作業実態図表

ア. I 式 (RB 50)



イ. K 式 (HC 75F)



(3) 故障、調整図表

コンバイン	H D 50	バインダー RB 50	HC 75F
引起し爪折	2番処理ベルト		
取替	ノッター調整		
強制レバー折れ	横製レバ2割目		
引起爪折1			横送りベルト
			切れ
2番処理		刈刃取替	
ベルト取替			
		結果ミス多収穫	
		横送りチェーン	
クローラ子			
外れ			
		横送りチェーン	
		切れ	
		刃作動用ロケット	
		部損傷	
		ノッター切断	
		ピン折れ	
駆動ベルト調整			
			横送りベルト
			切れ
			刈刃取替

IV. 考 察

(1) 自脱型コンバイン

シユー伸び約1枚分(5cm)継手ピンおよび穴の磨耗が原因その他は点検整備の状態と使用技術によって故障等の発生は防止できる。10~15haの作業面積消化後特に走行部について充分整備する必要がある。

(2) バインダー

駆動用ベルト、稲横送りベルト又はチェーンの調整が多い、部品の磨耗は少なく障害は殆どない。